

減圧保管容器 取扱い説明書



ストッパーの外し方



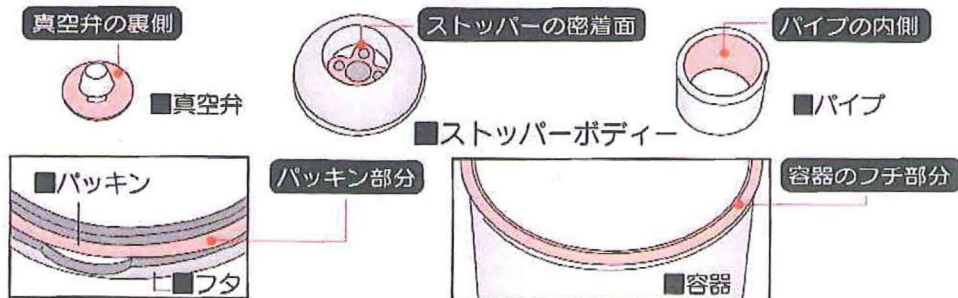
指(スプーン等)をかけ横にずらして引き上げると簡単に外れます。

空気漏れの原因について

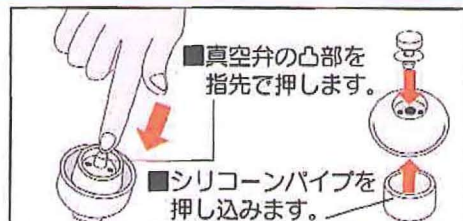
空気漏れの原因は、ほとんどが異物(ゴミ等)の付着によるものです。短時間でフタが開いた場合、各部品を取り外して、水できれいに洗ってください。

異物(ゴミ等)が付着しやすい場所について

下図に示した 部分が異物が付きやすく空気漏れの原因になりやすい場所です。また、大切な部分ですので傷が付かないように十分注意してください。



真空弁の外し方とストッパーの組み立て方



真空弁をストッパーの裏側から指で押すと簡単に外れます。ストッパーを組み立てる時は真空弁にボタンを差し込んでから本体に差し込みます。

真空圧の確認の仕方

最上部まで持ち上げてすぐに手を離す。

- ① ポンプをストッパーにしっかりと押し付けてください。
- ② ポンプのハンドルを数回上下させ真空後、ハンドルを最上部まで引っ張りすぐに手を離してください。ハンドルは下方に戻ります。ハンドルが戻った位置で真空圧を確認できます。

ハンドルが戻った位置で真空圧を確認できます。

高真空

●長期保存する場合(冷蔵庫)

中真空

●通常保存する場合(冷蔵庫)

低真空

●脱気の仕方が足りません。

約-0.085MPa ~ 約-0.06MPa ~ 約-0.04MPa

真空サイン

取り扱い上の注意

真空をかけすぎると、フタが破損する恐れがあります。減圧し過ぎないでください。1週間に一度程度減圧状態を確認して下さい。

- 容器の保存場所
湿度の低い、暗所に保管下さい。冷蔵庫の中は結露の可能性があるので避けてください。
- 熱成型シートの状態による保管方法
熱成型時にシートに気泡が出る
→低真空~中真空の間で、2週間程度保管してください。シートに含まれる湿気が少しずつ抜けていきます。
熱成型時にシートに気泡が出ない
→中真空~高真空の間で保管してください。空気が薄い状態では、シートが新たに湿気を吸い込む事がなくなり、良好な状態で保管できます。
- シリカゲルについて
シリカゲルは通常青色で、吸湿するとピンク色になりますので、交換の目安にしてください。